

介護保険創設20年



▲全世代によって価値のある改革にしたい(写真提供:社会福祉法人舞鶴会 地域密着型特別養護老人ホームみやのぎ荘)

迎春

新春特大号
2020年

介護保険制度 再検証

～負担と給付 改革の行方～

介護保険料の月額を「限支払額」を、年収約338.3万円以上の世帯では一律4万4400円としているところを、(1)年収約160万円以上を14万1000円、(2)年収約超)に分ける。その

は、項目のみで、残る6項目は送らないし先送りとなった。まず実施見込みの2項目をみてみる。

高額介護サービス費の見直し

低所得者に向けた食費・居住費の助成(補足給付)範囲の縮小

現状世帯全額が市町阿豆税非課税かつ本人

厚生労働省の社会保険審議会では21年度の介護保険制度を診療報酬の制度改定についで、改革案を検討してきた。当初提示された改革案の8項目のうち、実施の見込みが

770万円／約1160万円を9万30000円、(3) 年収約38万円／770万円を4万44000円、の3つの区分に分ける。世帯年収に上限を設ける。基準を医療費と同一とし、

2020年、介護保険制度の創設から20年の月日が経った。高齢者の生活を支える基盤に不可欠なものでして、十分に制度が発展したといえる。だが、生活に欠かれないものになるにつれ、負担と給付の問題が顕在化。介護保険の持続性のみならず高齢者医療費の膨大化もあり、負担と給付の議論は日本の社会保険制度の根幹を揺るがす問題だ。今号では介護保険制度改革を軸に、後期高齢者医療費の改定も含め見直しの行方を検証していく。

■介護保険制度改革の主な議論

高額介護サービス費の見直し	実施
低所得者に向けた食費・居住費の助成(補足給付)範囲の縮小	実施
被保険者範囲と受給者範囲の見直し	見送り
多床室の室料負担	見送り
ケアプラン有料化	見送り
軽度者への生活援助サービスの地域支援事業移行	見送り
利用者負担3割・2割の範囲拡大	見送り
現金給付	見送り

負担が、従来に比べて増額される。

見送りとなった制度改革案は、「被保険者範囲と受給者範囲の見直し」「多世帯の寡料負担」「ケアプラン有料化」「軽度者への生

負担と給付の議論は介護保険制度、ひいては社会保障制度の持続のために避けては通れない。見送りになっ

た改革案も含め、議論の概要を紹介していく。

1月10日以降の主な動き

1月10日(金)
○社会福祉法人東京都社会福祉協議会「つながれひろがれちいきの輪 実践報告会」(会場/東京TKP市ヶ谷カンファレンスセンター)

1月13日(月)
○公益社団法人全国老人福祉施設協議会「第16回 60歳からの主眼」(会場/東京 時事通信ホール)

1月15日(水)
○シスケア「土地活用セミナー」(会場/東京 シスケアセミナールーム)

1月16日(木)
○一般財団法人医療経済研究・社会保険福祉協会「サ高住併設の訪問介護事業所における法令遵守」(会場/東京 同協会本所)
○公益社団法人全国有料老人ホーム「高齢者虐待防止研修～基礎的知識から、高齢者虐待防止に向けた具体的取組み～」(会場/東京 東京都社会福祉保健医療研修センター)
○神奈川県「最期まで心に寄り添う～住み慣れた地域で穏やかに迎える社会に向けて～」(会場/神奈川 鎌倉芸術館)

TOPICS

第1特集	1～9面
介護保険制度再検証 ～負担と給付 改革の行方～	
第2特集	12～15面
動き出す「混合介護」 豊島区長インタビュー	
ニュース・総合	16・17面
出生数90万人割れ	
介護Biz	18～23面
時短やテレワーク活用	
医療	24・25面
人生の節目に「もしバナゲーム」	
第3特集	28・29面
認知症施策～共生と予防～ 「家族の会」花侯氏に聞く	
第4特集	30・31面
財政審指摘に高住連が意見書	
第5特集	32・33面
介護現場のBCP対策	
第6特集	34～39面
介護ロボット・RPA	
第7特集	40～42面
ベテラン介護職員座談会	
ヘルスケア・フォーカス	56面
アプラス 住宅改修強化	

介より
始めよ

「新しき年の始めの初春のけふ降る雪のいや重け吉」と給付の議論は今後の雪のいや重け吉も波乱を呼ぶだろう。また今、介護言Ⅱこの歌は万葉集の一言。今日(元日)の雪は豊かな縁あり、課題の「言Ⅱ」の雪は豊かでしょう。は降り積もる一方という意味だ。元日だ▼だがこの20年、志を高くする関係者の努力で、介護の現状は確実に変わつてきた。この新しい口は2165万人から3339万人に、課題の雪が、積り多くなる。定数数は18万人から667万人に増える。業界の春を告げた。▼介護費の総額は18年度に10兆円やまない。

